

区立自転車駐車場の管理運営について

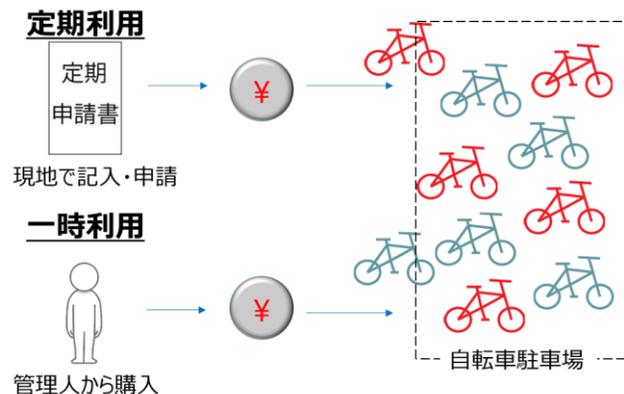
都市整備部 管理課 交通企画担当

“自転車で出かけたくなるまち”の実現に向け、

区立自転車駐車を **リ・デザイン** DX化による課題解決

現状・課題

- ・老朽化した施設とラック
- ・時代錯誤である現金前払い制
- ・有人管理による様々な問題や課題
- ・利用データの把握が不十分
- ・満空情報の提供ができず、人による満車判断
- ・一時利用と定期利用の区画区分が不明確



- ・電磁ラック・ゲートの設置（一時利用は事後精算）
- ・キャッシュレス決済の導入
→入出庫、支払い完全機械化、24時間対応
- ・定期申請のオンライン化
- ・満空情報の発信



機械式設備（電磁ラック・ゲート）導入による効果

機械式設備（電磁ラック等）の導入等により、様々なサービスが提供可能
機械式設備導入によって、管理運営経費の低減化のみならず、短時間無料利用を拡大し放置自転車の一層の対策に。

① 満空情報の提供（オンライン）

どの自転車駐車が空いているのか、どこにいても確認可能

② 支払方法のキャッシュレス化

現金以外の支払いが可能

③ 短時間利用の無料化

ちょっとした買い物で、積極的に自転車活用が可能に

電磁ラック方式

ゲート方式



電磁ラックに駐車



精算機で出庫時精算



一時使用は発券、定期使用はカード認証



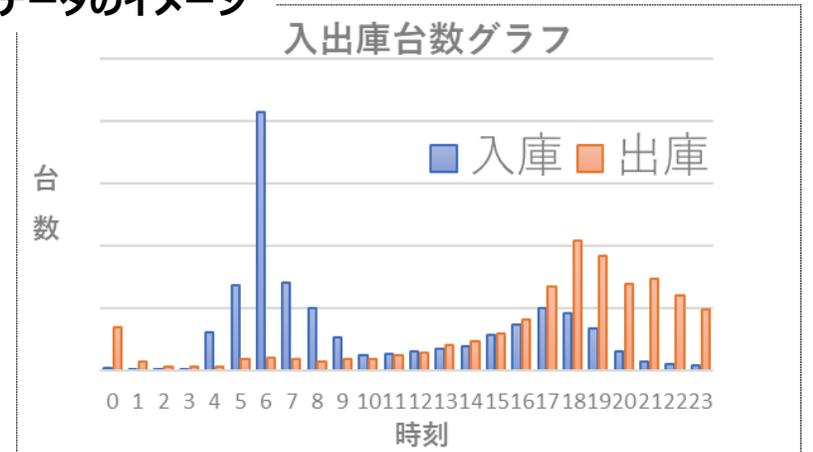
区立自転車駐車場の利便性を高めることで自転車に乗りやすい環境を整える。

「自転車に乗りやすいまち」へ



利用状況などのデータが収集可能となる。
データの利活用によって、今後の区立自転車駐車場の更なるサービスの向上にもつながる。

活用データのイメージ

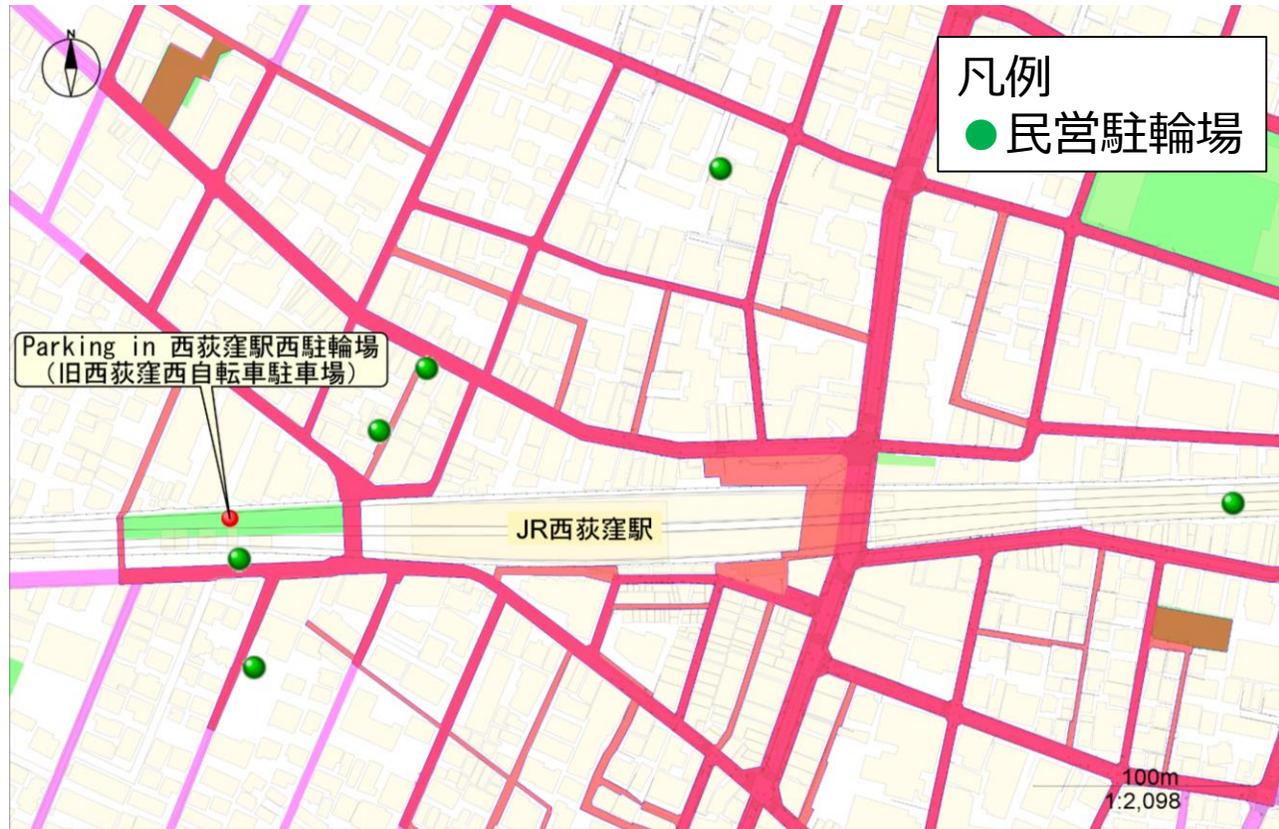


電磁ラックを導入する場合、ラック幅の関係で収容台数が減少する

移管した自転車駐車場の状況

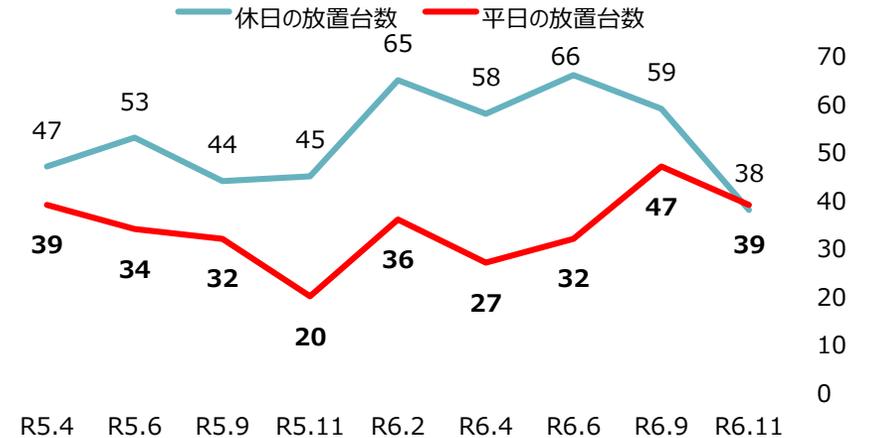
令和6年7月に株式会社ジェイアール東日本都市開発へ高架下で運営していた自転車駐車を移管
西荻窪駅、阿佐ヶ谷駅（2箇所）、高円寺駅の合計4箇所を移管したが、特に西荻窪で利用者からの要望が多い
⇒手紙やメールで寄せられた要望は20件以上、**内容としては「一時利用が減少した」というものが多い**

※赤色の道路は杉並区で定める自転車の放置禁止区域



西荻窪駅の放置禁止区域内の民営駐輪場の駐車状況等を把握
⇒満車の駐輪場もあるが駅から少し離れた駐輪場については空車の箇所も存在している

西荻窪駅の放置自転車台数



駅周辺の放置自転車の増減については大きな変化がない

移管から認識した課題

～自転車駐車場の管理運営の見直しに向けて～

【これまでの管理手法からの課題】

- 駅単位での乗り入れ台数、放置台数の管理 ⇒ 必要整備台数の考え方に定期・一時の分けがない
- 各駐輪場ごとの利用者ニーズを把握しきれていない ⇒ 現場の運用でカバーしてきた
- 定期と一時の使用料バランス ⇒ 一時と比較し定期が割安となる、適正な使用料金検討の必要性
- 定期利用者の待機待ちの解消が最重要課題 ⇒ 待機者の実態把握の必要性（一時使用との関連等）

【今後の方向性】

- 駅単位での乗り入れ台数、放置台数の管理について実態把握に注力していく
- 各駐輪場ごとの利用者ニーズを把握し、電磁ラックなどの機械化の際には定期・一時の適正な配分を実施
- 管理運営の見直しの際は、使用料の検討や、定期利用待機待ちの実態把握など、多角的な検討を実施

一時利用と定期利用の適正配分を考慮した自転車駐車場のリ・デザインとしていく

リ・デザイン方針の実施に向けて

杉並区実行計画

令和6年度	令和7年度	令和8年度
自転車駐車場の管理・運営の見直し 調査・検討	自転車駐車場の管理・運営の見直し 検討・実施	自転車駐車場の管理・運営の見直し 実施

区政経営改革推進計画

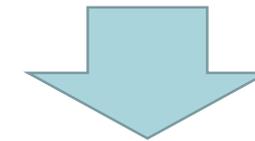
令和6年度	令和7年度	令和8年度
管理・運営の見直し 方針に基づく取組の準備	管理・運営の見直し 方針に基づく取組の準備・実施	管理・運営の見直し 方針に基づく取組の実施

「調査・検討」・「準備」

地域ごとに自転車駐車場の利用状況や駐輪需要が異なる。

⇒地域ごとの丁寧な分析を進めつつ、

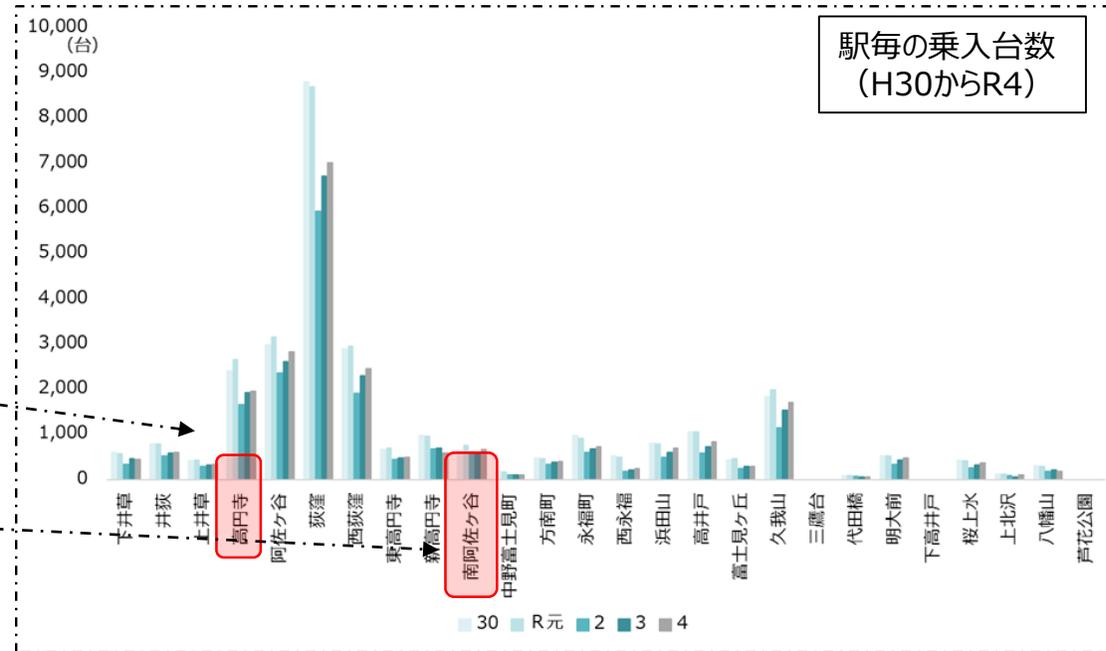
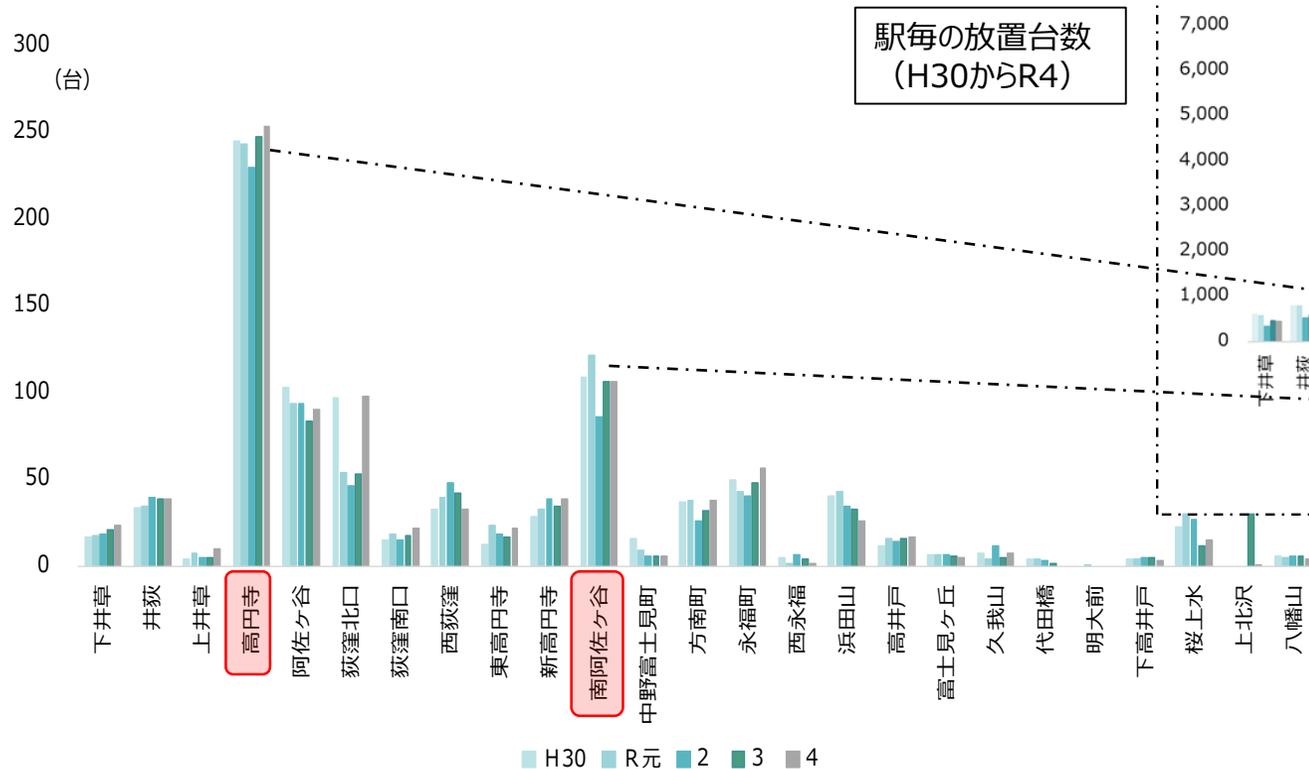
放置自転車に課題がある地域に対し重点的に検討を行う。



**機械式設備の導入を前提とした
新たなサービスを順次地域ごとに展開**

- ・キャッシュレス決済
- ・短時間無料利用
- ・定期のオンライン申請等

駅毎の放置自転車台数



平日昼間の駅周辺の放置台数 (R6速報値)

順位	駅名	放置台数
1	高円寺	233
2	南阿佐ヶ谷	116
3	荻窪	101
4	阿佐ヶ谷	73
5	新高円寺	45

東京都内の放置自転車台数で**高円寺が第4位**

(※「都内における駅前放置自転車の現況 (令和5年度調査結果)」東京都生活文化スポーツ局)

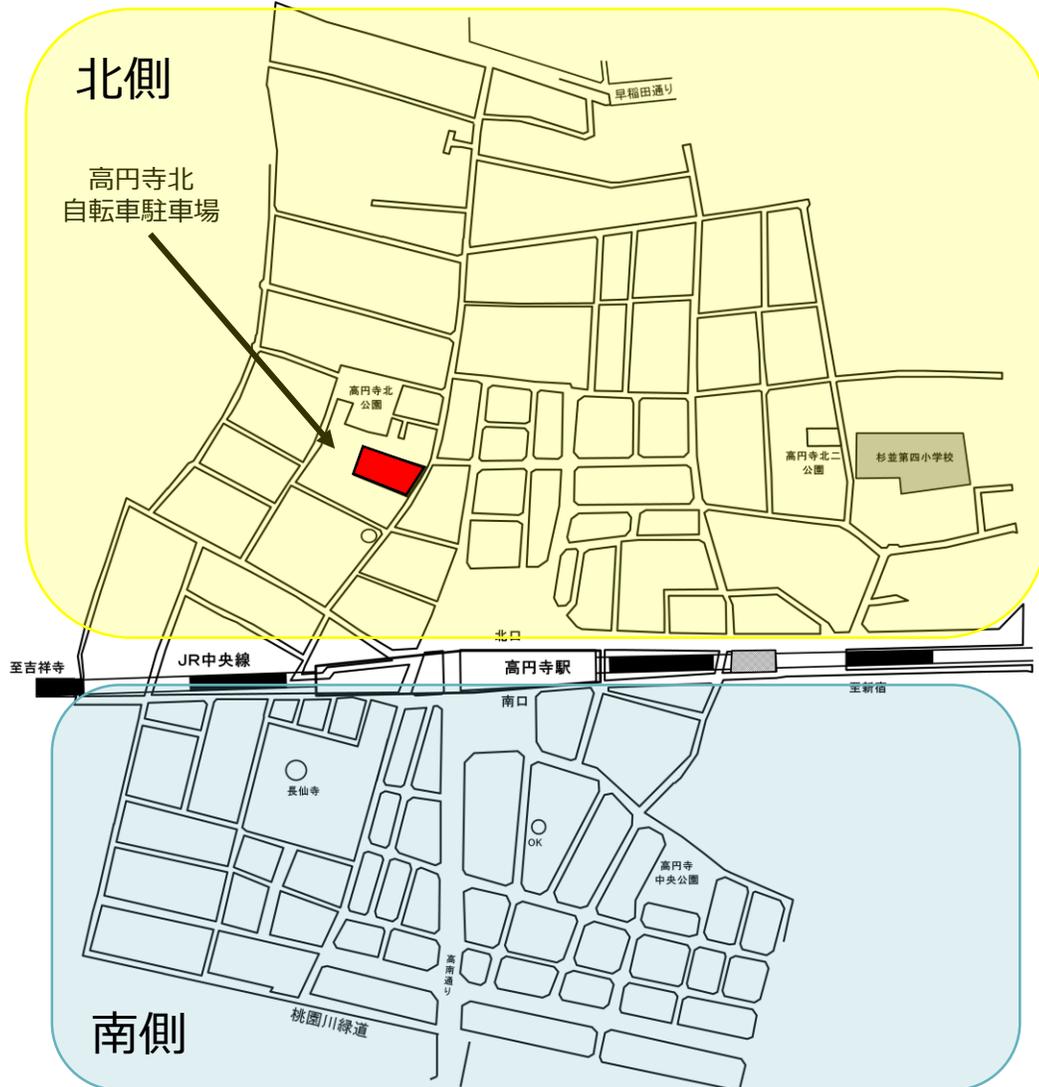
区内の駅で見ると、高円寺駅・南阿佐ヶ谷駅の放置台数が1位・2位となっている。

高円寺や南阿佐ヶ谷は駐車台数に比べて放置台数が多い

4月、6月、9月の台数調査の平均値

高円寺駅の状況

高円寺駅には区立では3階建ての高円寺北自転車駐車場が1箇所整備されている。収容台数は2537台となっている。



放置自転車の台数（北側）

	R6.4	R6.6	R6.9	R6.11
平日昼間	137	131	86	105
平日夕方	139	145	107	121
休日昼間	187	181	122	162
休日夕方	173	181	150	190

放置自転車の台数（南側）

	R6.4	R6.6	R6.9	R6.11
平日昼間	113	121	111	130
平日夕方	116	122	105	122
休日昼間	198	144	130	156
休日夕方	158	155	132	161

**平日よりも休日の方が
放置台数が多い**

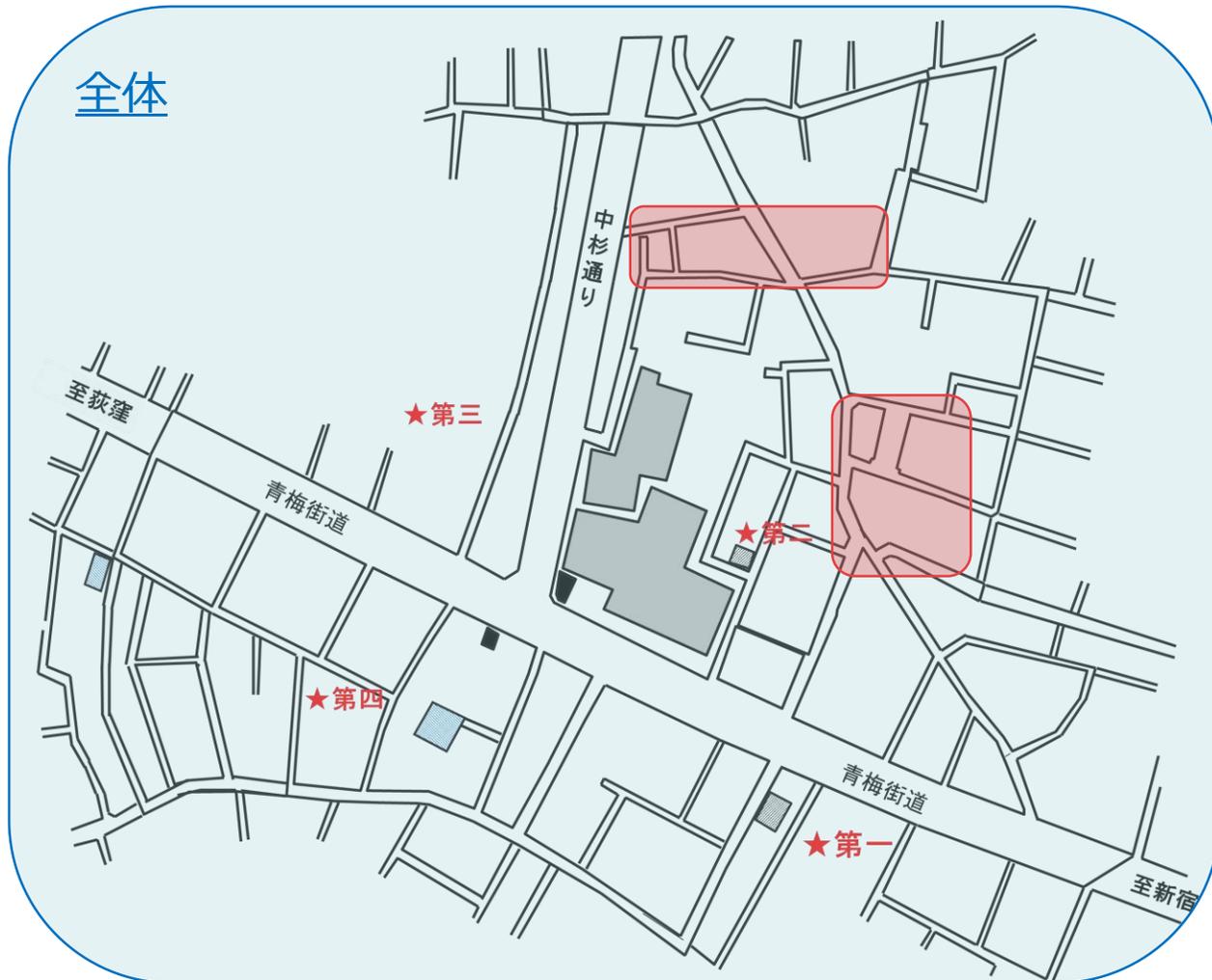


**一時利用のニーズは休日に顕著であり、
短時間無料利用を提供することで
放置自転車対策が見込める。**

⇒時間管理が可能な電磁ラックの必要性

南阿佐ヶ谷駅の状況（放置自転車）

南阿佐ヶ谷駅には3箇所の区立自転車駐車場が整備されている。収容台数は（第一：278台、第二：110台、第三：57台）令和7年度中に旧職員会館跡地に新たな自転車駐車場「（仮称）南阿佐ヶ谷第四自転車駐車場」を整備予定



放置自転車の台数(全体)

	R6.4	R6.6	R6.9	R6.11
平日昼間	124	114	110	122
平日夕方	132	113	144	134
休日昼間	156	113	181	125
休日夕方	177	155	171	135

放置自転車の台数(赤部分抜粋)

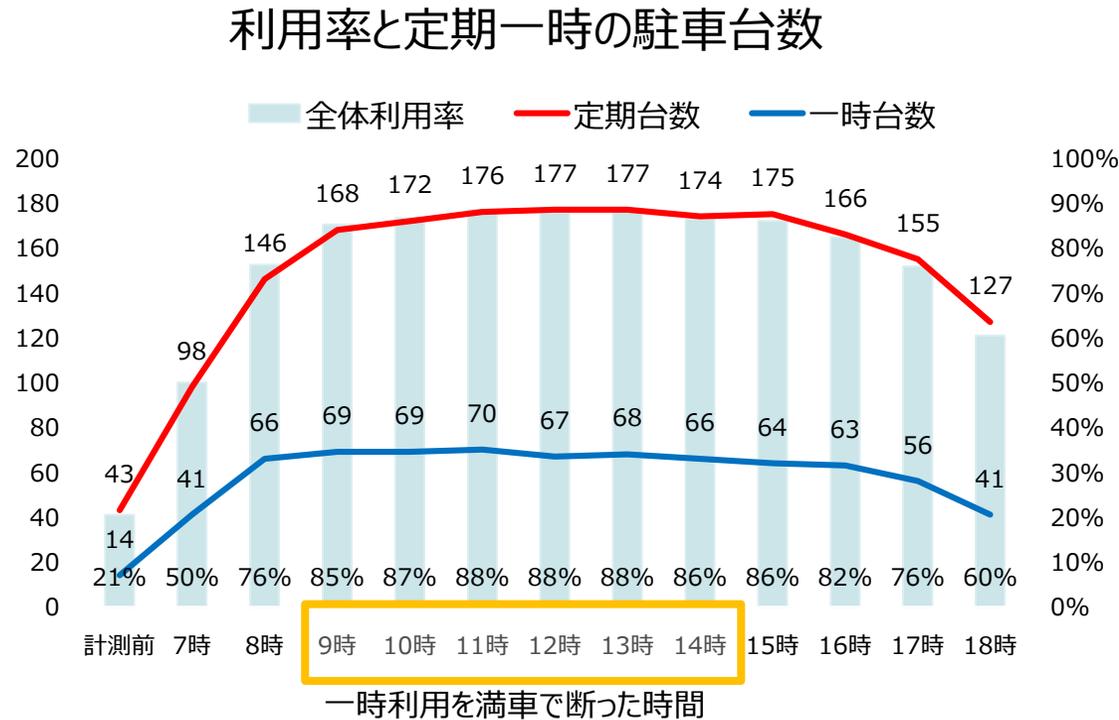
	R6.4	R6.6	R6.9	R6.11
平日昼間	58	69	51	63
平日夕方	81	57	79	71
休日昼間	76	60	71	59
休日夕方	81	83	89	80

南阿佐ヶ谷駅は**赤で囲った2地点に放置自転車が多い**。
全体の放置台数の半分以上が赤エリアに集中

**（仮）南阿佐ヶ谷第四自転車駐車場で電磁ラックなど
短時間無料利用を提供→放置自転車対策が見込める。**

南阿佐ヶ谷駅の様況（自転車駐車場）

定期利用と一時利用が混在している自転車駐車場については電磁ラック導入に際し詳細なデータが必要となる。
機械化の際には定期・一時の適正な配分を実施するために現在の使用状況を正確に把握



収容台数：278台
定期利用最大駐車数：177台
一時利用最大駐車数：70台
最大利用率：88%

↓ 自転車駐車場整備に活用

（仮称）南阿佐ヶ谷第四自転車駐車場（R7年度中に開設予定）

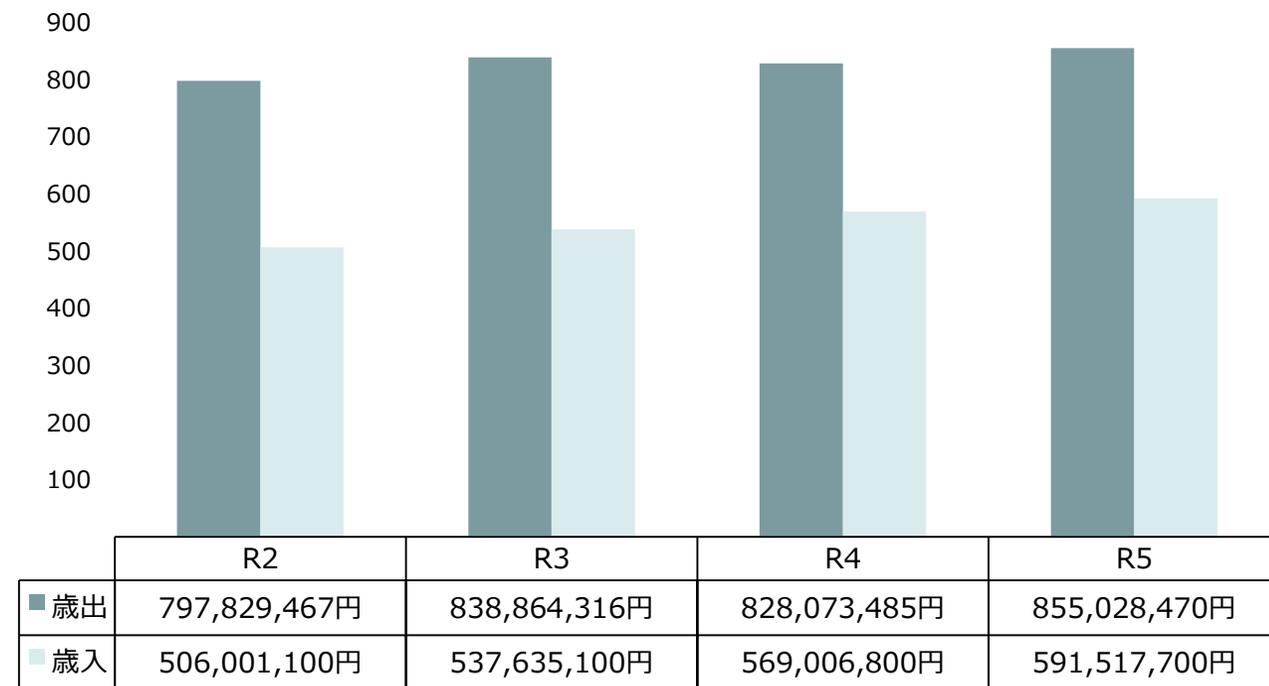
第二・第三の調査等も踏まえて定期利用と一時利用を適正配分

12月の平日の1日で実施
南阿佐ヶ谷第一自転車駐車場で入出庫状況を調査
（定期利用と一時利用が混在しているため）

今後、他の自転車駐車場においても調査を実施予定
リ・デザインによる機械式設備の導入数等に活用

自転車駐車場の運営に係る経費

単位：百万円 自転車駐車場の運営経費及び収入



歳出内訳および構成比



歳出の内
人件費が約50%、賃借料が約30%となっている

参考：公契約条例における労働報酬下限額

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1時間当たり単価	¥1,083	¥1,093	¥1,138	¥1,231	¥1,400
対前年度増加率	—	1%	4%	8%	14%

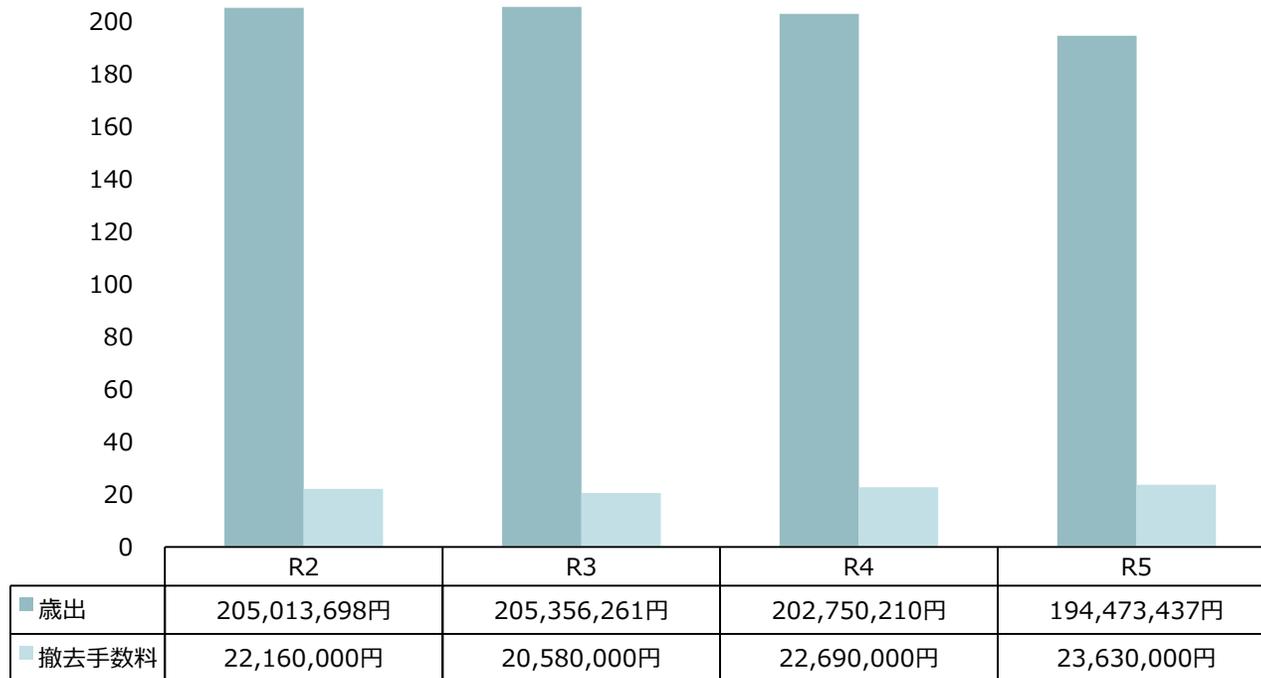
自転車駐車場の収支（使用料収入－歳出）は「**約2.5から3億円**」の**マイナス**となっており、今後、人件費や物価の上昇によって収支の悪化が懸念される。

放置自転車対策に係る経費

放置自転車対策経費（※）と撤去手数料

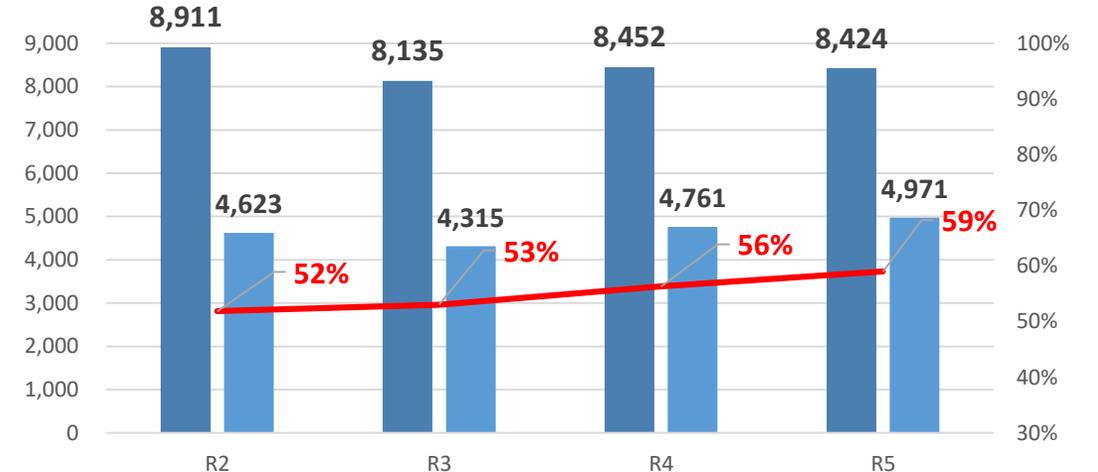
※放置自転車の撤去・返還・処分、放置防止啓発に係る経費

単位：百万円



撤去自転車の返還率

■ 撤去台数 ■ 返還台数 — 返還率



撤去した自転車の返還率（集積所に取りに来る割合）は50%台を推移。

撤去手数料は、1台5000円

放置自転車1台の撤去に係る費用は概ね23,000円程度となっている。

※（歳出÷撤去台数）で算出

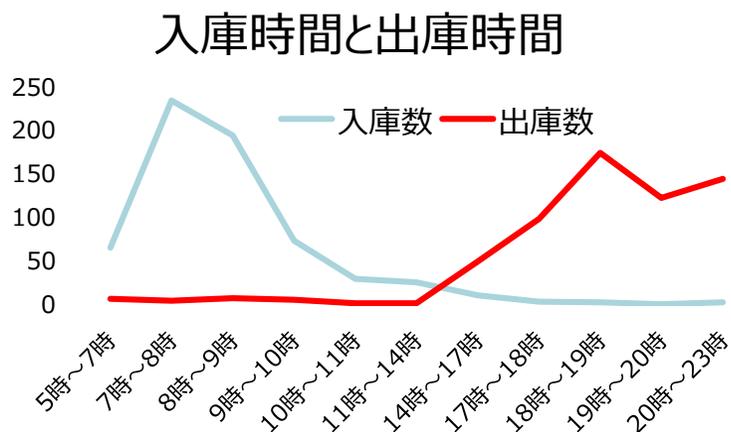
利用者アンケートの実施

高円寺駅・南阿佐ヶ谷駅・新高円寺駅の区立自転車駐車場利用者に対し、アンケート調査を実施した。

実施時期：令和6年10月

実施方法：利用者の自転車にQRコードのついた札を貼付し、WEB回答

回答数：668件（高円寺：372件、新高円寺：203件、南阿佐ヶ谷：93件）

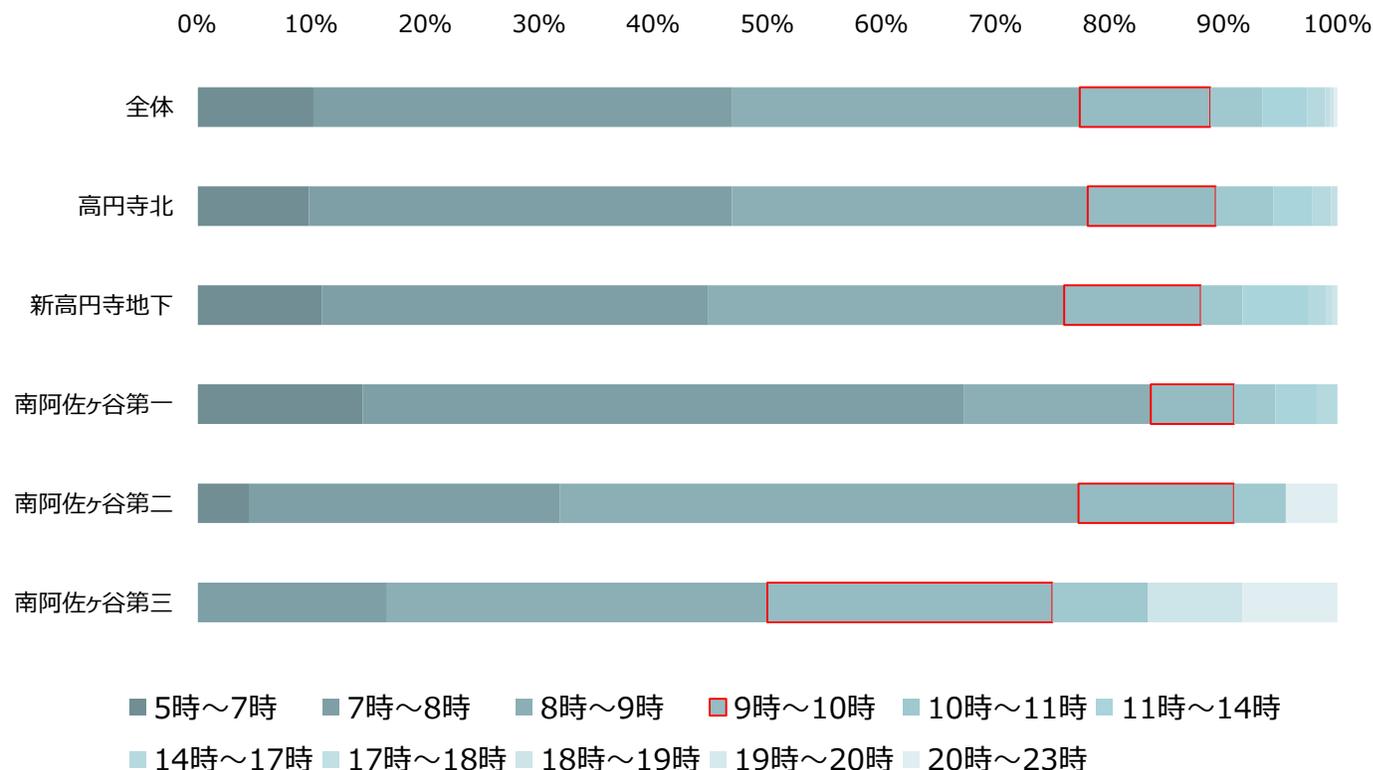


入庫は午前中、出庫は18時以降に集中している
各駐車場毎の入庫時間の割合を見ても
入庫自転車の約80%は午前10時までに入庫済



通勤通学のための駐車場利用が多くなっており、
午前10時以降にも、自転車を駐車できる・駐車したくなるような施設の整備へ

各駐車場毎の入庫時間別の割合

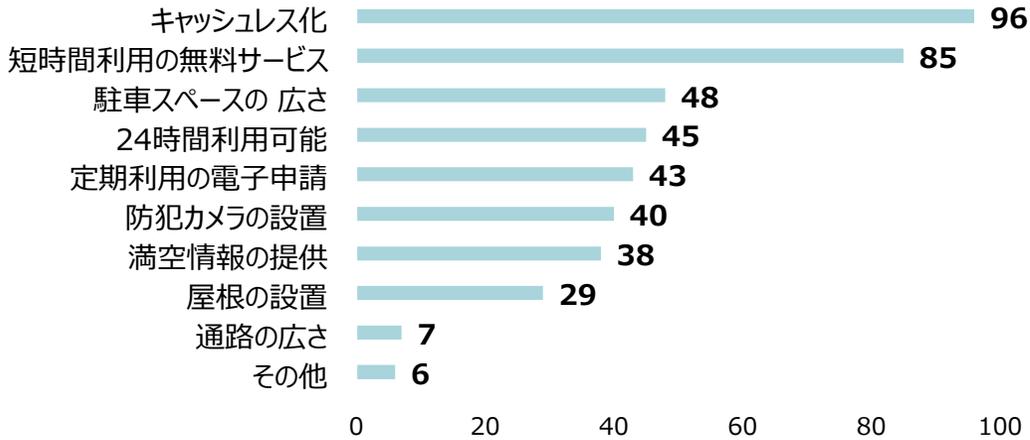


区政モニターアンケート

※令和6年12月末に区HPアップ予定のため未定稿

令和6年度第4回 区政モニターアンケート【自転車の利用環境及び公共交通に関する意識について】が実施された。利便性の高い自転車駐車場に求めるサービスについて3つまで回答可能として集計を行った。(N=160)

利便性の高い自転車駐車場に求めるサービス (3つまで回答可)

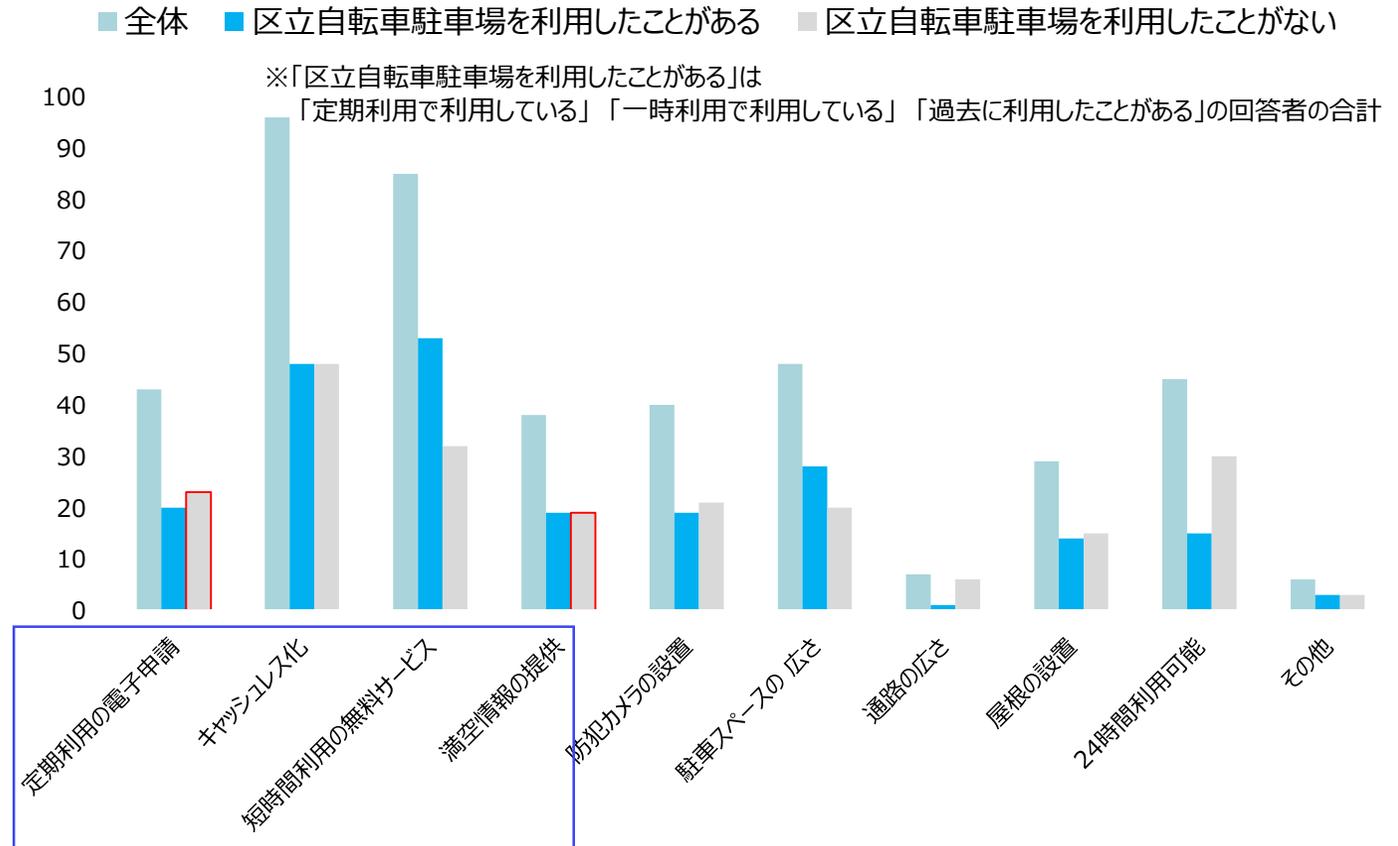


- ・キャッシュレス化が最も多く、次いで短時間無料利用となった。
- ・利用していない層における定期利用の電子申請や満空情報の提供も上位に位置している。



自転車駐車場の利用者を拡大し、自転車活用の推進を図る

利用実態別のグラフ



⇒機械式設備導入やDX化を進めていくことで展開が可能

自転車に乗りやすいまちを目指して

地域特性を分析しつつ、効率的かつ効果的な自転車の駐車環境が提供できるよう地域ごとの管理へ
今後経費の増加が見込まれる中、持続可能な自転車駐車サービスを提供し続けるために管理を地域ごとに一体化

